

明るい挨拶がかわされる地域づくりをめざして

福井市明倫中学校

1 取り組みの概要

(1) 地域や家庭と学校の連携実績

項目	回数
地域・学校協議会	2回
中学校区を単位とした協議会	1回
地域及び家庭への学校公開	9回

(2) 地域人材の活用（のべ人数）

講師・ゲストティーチャー	145人
授業ボランティア（含：低ボラ）	97人
登下校支援ボランティア	0人
その他（文化祭）	17人

(3) 特色ある活動

テーマ キャリア教育

1年生では、総合的な学習の時間を利用して、「福井県子どもNPOセンター」の協力により、エデュケーションルキャリアカウンセラーの方をファシリテーターとして迎え、生徒に自分自身を見つめさせ、キャリア形成の基礎となる自己肯定感を高めさせるプログラムを3時間に分けて実施した。

1時間目「十人十色っていうけれど…みんな違って面白い！」

好みや感覚・感じ方や思い描く世界が、人によってちがうことに気づかせ、それが個性であることを理解させた。

2時間目「見方を変えると世界が変わる!？」

「ルビンの壺」「少女と老婆」の絵を見せ、見方を変えることで、違った物に見えることに気づかせ、自分が長所又は短所と思っていることも変わってくることを理解させた。

3時間目「自分って? 『ステキ』を見つけて伝えてみよう！」

サイコロを振って出た目に従い、最近見たテレビで一番感動したもの、将来挑戦してみたいこと、などを話し、それを聞いた他の生徒が「ステキ」を見つけて伝えることで、自己肯定感が高まることを体感させた。

【生徒感想】

3回にわたって「自分自身を知ろう」というテーマで講座をしました。何事にも、悪いと考えをせず、良い考えをした方がよいということがわかりました。自分の性格の良い所を捜し考えました。悩むことが多かったのですが、終わったとき、なぜか、心地よかったです。



成果と課題

外部機関との連携により、3年間を見通したキャリア教育の道筋を確立することができた。特に、エデュケーションルキャリアカウンセラーとの連携は、教員のキャリア教育の現職研修にも役だった。今後は、この方々から、さらに指導・助言をいただきながら、2年生の職場体験、3年生の進路決定へと関連づけていきたい。